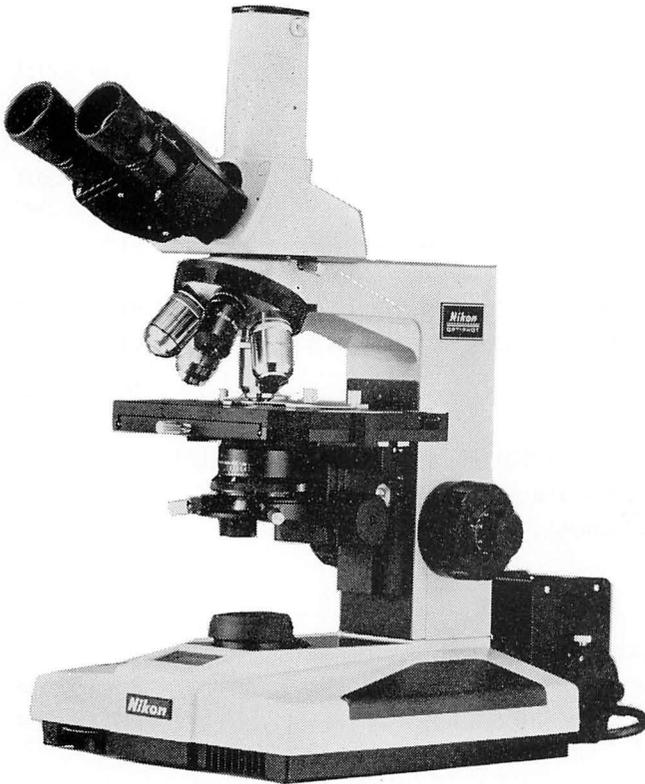


顕微鏡の理想を求めて☆☆CFシステム

新製品



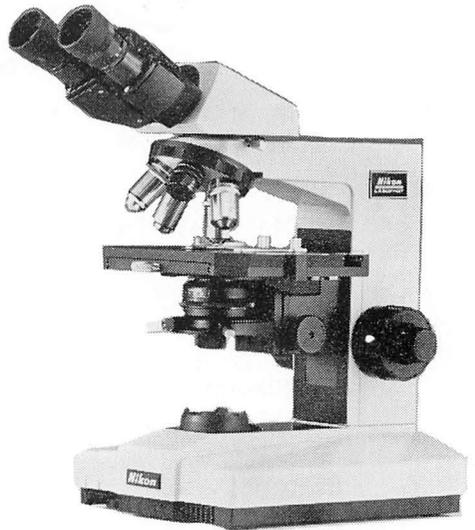
OPTIPHOT

汎用機としての性能、操作性、発展性をすみずみまで追求しました。OPTIPHOTは、より鮮明な写真像が撮影できる顕微鏡として開発したもので、BIOPHOT、Vシリーズで好評を得ているCFシステムを導入。さらに、新しい設計で充実した光学系を開発しました。たとえば、光源は輝度の高い12V50Wハロゲンランプを採用、自然色で明るくきれいな像が観察できます。レンズ、プリズム、ミラーなどの光学部材は光束に対して余裕のあるように、十分な大きさをもって設計しました。また、適切な固定絞りを配置し、多層膜コーティングを効果的に施して、内面反射によるフレア、ゴーストを除去。すっきりした見え味です。照明系は対物レンズの性能をフルに発揮する完全ケラー照明系。低倍から高倍まで切り換えなしで観察できるようにしました。カラーバランスも安定していて、写真撮影ではすぐれた色再現性を発揮します。



日本光学工業株式会社札幌営業所

北海道特約店 株式会社 北海光学



LABOPHOT

観察用として、OPTIPHOTの性能をシンプルにまとめました。

LABOPHOTは、OPTIPHOTの特長を保ちながら、シンプルで操作性の高い、とくに観察を目的として開発した顕微鏡です。CFシステム、6V20Wのハロゲンランプの採用、内面反射によるフレア、ゴーストの除去など、OPTIPHOTと同様に光学性能を向上させ、見え味をシャープにしています。ベース部もトランス内蔵、薄く安定して手を載せやすく、さらに、机上スペースをとらないように、極力コンパクトに設計しました。また、照明光学系は倍率による切り換え、ランプの心出しも不要。より使いやすくなり、写真撮影にも十分耐える設計になっています。

Nikon

生物顕微鏡

〒060 札幌市中央区大通り西1-13

大通りビル 231-7896(代)

〒001 札幌市北区北8条西5-1 5-1

いわしや森田ビル 741-9381

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員は各号 1,000 円、非会員には各号 1,500 円。欠号：1 巻 1-2 号, 5 巻 1 号, 6 巻 1-3 号, 7 巻 1-3 号, 8 巻 1-3 号, 9 巻 1-3 号。

2. 「藻類」索引 1-10 巻, 価格、会員 1,000 円、非会員 1,500 円。11-20 巻, 会員 1,500 円、非会員 2,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補, 1977. A 5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覽・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載。価格 5,500 円。

4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編, 1972. B 5 版, xiv+280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 3,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B 5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月, 札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 700 円。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Institute of Biological Sciences, The University of Tsukuba, Sakura-mura, Ibaraki-ken, 305 Japan.

1. Back numbers of the Japanese Journal of Phycology (Vols. 1-25, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,250 Yen per issue for members, or 1,800 Yen per issue for non member. Lack: Vol. 1, Nos. 1-2; Vol. 5, No. 1; Vol. 6, Nos. 1-3; Vol. 7, Nos. 1-3; Vol. 8, Nos. 1-3; Vol. 9, Nos. 1-3. (incl. postage, surface mail)

2. Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology. Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962), Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972). Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member. (incl. postage, surface mail)

3. A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977, xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. Price, 6,000 Yen. (incl. postage, surface mail)

4. Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific. Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI. 1972, xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. Price 4,000 Yen. (incl. postage, surface mail)

5. Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido (in Japanese). 1977, 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. Price 700 Yen. (incl. postage, surface mail)

昭和 55 年 12 月 5 日 印刷
昭和 55 年 12 月 10 日 発行

編集兼発行者

吉 田 忠 生

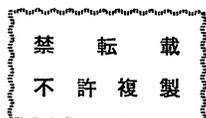
〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学理学部植物学教室内

© 1980 Japanese Society of Phycology

印刷所

文 栄 堂 印 刷 所

札幌市中央区北 3 条東 7 丁目 342



発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学理学部植物学教室内
振 替 小 樽 1 6 1 4 2

Printed by BUNYEIDO PRINTING CO.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金 (研究成果刊行費) による。

藻類

目次

西澤一俊・岡田往子・久保清明・安斎 寛： ナラワスサビノリのアデニル酸 デアミナーゼについて……………	(英文) 205
高原隆明・千原光雄： 邦産管状緑藻ウミノタマ属2種の培養と分類 ……	(英文) 211
横浜康継・御園生 拓： 海産底生緑藻のクロロフィル <i>a:b</i> 比 ……	(英文) 219
川井浩史・黒木宗尚： 日本新産，褐藻 <i>Delamarea attenuata</i> (KJELLMAN) ROSENVIINGE (ニセカヤモ：新称)の形態学的観察……………	(英文) 225
原田 彰・山岸高旺： ホシミドロ属(緑藻類)の細胞学的研究 1. 体細胞分裂 ……	233
増田道夫・清水 哲： 紅藻ミヤビフジマツモ(新称)について……………	241
中村 武： 関東産チスジノリ属藻類について ……	249
奥田弘枝： ワカメ成熟葉体の電子顕微鏡的観察—特に表層，皮層細胞および 粘液腺の微細構造について……………	255

雑 報

西澤一俊： 三輪知雄先生を偲ぶ ……	201
吉田忠生・吉田明子： ユカリの表皮細胞に含まれる「油体」について ……	218
中沢信午： 東北大学田原門下の海藻研究 ……	264
正置富太郎・奥田武男： 欧州で行なわれた藻類の国際学会に出席して ……	266
ニュース ……	224, 232
学会録事 ……	268